

## ● 病院概要

● 開設者名 新潟県 ● 病院長名 塚田 芳久

## ● 標榜診療科目

内科、神経内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、精神科、放射線科、脳神経外科、麻酔科、呼吸器外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、救急科、病理診断科、緩和ケア科、歯科口腔外科

## ● 使用許可病床数

	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	429床	382人
精神	45床	26.8人
感染症	4床	0人

● 一日平均外来患者数 918人

● 医師数 常勤 105人 非常勤 37人

● 年間手術件数 3,822件

● 年間出産件数 272件

● 病院併設施設 附属看護専門学校

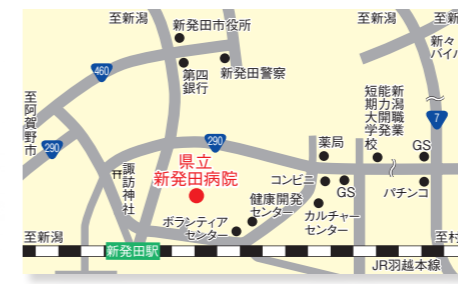
● 救急告示病院の指定 有

## ● 学会指定施設の状況

日本アレルギー学会認定教育施設、日本医学放射線学会放射線科専門医制度修練機関、日本外科学会専門医制度修練施設、日本呼吸器外科学会指導医制度関連施設、日本産婦人科学会専門医制度卒業研修指導施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本循環器学会認定循環器専門医制度研修施設、日本消化器外科学会専門医制度修練施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本消化器病学会認定施設、日本小児科学会専門医研修施設、日本神経学会専門医制度教育施設、日本心血管インターベンション治療学会認定研修関連施設、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本透析医学会専門医制度認定教育施設、日本内科学会認定内科認定医教育病院、日本乳癌学会関連施設、日本脳卒中学会研修教育病院、日本病理学会研修認定施設、日本ペインクリニック学会指定研修施設、日本麻酔学会研修施設、日本臨床細胞学会認定施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本周産期・新生児医学会周産期新生児・母体・胎児専門医暫定研修施設、日本腎臓学会研修施設、日本呼吸器学会認定施設、日本精神神経学会精神科専門医研修施設、日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士実地修練施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設、日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育認定施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設基幹教育施設、日本血液学会血液研修認定施設、日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設、日本大腸肛門病学会認定施設、肝胆膵学会高度技術専門医修練施設B



## ● Access



● 新発田駅下車徒歩5分

## 照会先

庶務課

TEL 0254-22-3121 FAX 0254-26-3874

E-mail [shomu@sbthp.jp](mailto:shomu@sbthp.jp)

## ● 病院見学の受入 随時

申込方法

メールにて大学名、学年、氏名、見学希望日及び診療科等明記の上、お申し込みください。折返し、担当医師よりご連絡差し上げます。

## ● 研修概要

## ● 研修プログラムの目的と特徴 (平成31年度研修医)

## ● 目的

新潟県立新発田病院において行われる、24ヶ月間の臨床研修を履修する研修医は、プライマリ・ケアの基本的技術を習得し、EBMに根ざし、安全な医療を患者さんの視点に立って遂行する医師となることを目標とする。また、社会的ニーズを把握し、将来望まれる医師の態度を身につけるよう以下の目標達成に努力する。

## ● 研修目標

- ① 基本的疾患の対処を習得し、特に救急医療の初期診療を学んで、安全な医療を遂行し、適切な時期に専門医に紹介できる医師になる。
- ② 社会の要請を把握し、チーム医療を実践し、疾病の予防や生活管理に至るまで、心身両面から指導できる医師になる。
- ③ 医療情報や診療記録を正しく記載・管理でき、正確に伝達できる医師になる。

## ● 特徴

(新発田病院臨床研修プログラム 定員8名)

研修は内科系基本研修35週(呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科+代謝内分泌内科、血液内科、神経内科、放射線検査各5週)、外科系基本研修25週(外科、整形外科、脳外科、麻酔科、産婦人科各5週)、救急5週、小児科5週、精神科5週、地域医療(新潟県立坂町病院)5週及び選択研修20週をスーパーローテーション方式で研修する。循環器内科、外科、麻酔科、小児科、整形外科、脳外科をローテーション中に一定期間を救急専従とし、日当直なども併せて2年間に合計約1,000時間の救急研修を行う。

(新潟県立病院臨床研修コンソーシアム：基幹病院新発田病院 定員2名)

新発田病院で救急疾患を中心とした急性期診療の基礎を研修し(5ヵ月)、がんセンターでは内科を中心にじっくりと考えながら自由選択で研修を行い(5ヵ月)、十日町病院では総合診療を中心とした全人的医療の研修を行ないます(5ヵ月)。地域研修(1ヵ月)の後は新発田病院にて自由選択(8ヵ月)で研修を行います。各病院の良いところのみを抽出した比較的自由度の高いプログラムです。

## ● 協力病院・協力施設

新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院、新潟県立坂町病院、新潟県立中央病院、新潟県立津川病院、新潟県立十日町病院、新潟県立がんセンター新潟病院、新潟県立リウマチセンター

## ● 研修医の待遇 (平成31年度研修医)

1年次月額 基本給 : 310,000円  
当直手当 : 15,000円(10,000円/回)  
時間外勤務手当 : 150,000円  
住居手当 : 25,000円  
月額平均 計 : 500,000円

2年次月額 基本給 : 340,000円  
当直手当 : 30,000円(20,000円/回)  
時間外勤務手当 : 155,000円  
住居手当 : 25,000円  
月額平均 計 : 550,000円

## ● 勤務体制

勤務時間 : 8:30~17:15 (休憩時間を除き7時間45分)

当直時間 : 17:15~ 8:30

## ● 研修医当直 回数 (月平均) 3回/月

当直時の勤務体制 (研修医以外の当直医数) 2人  
(当直研修医数) 1人

内科系、外科系、小児科当直医、また必要に応じて各専門分野の当番医の指導のもとに救急患者の診療を行う。

## ● 研修医の学習環境

居室 研修医室に各自のデスク有  
Medline、UpToDate利用可能  
図書・文献 24時間医局図書室利用可能

## ● 研修の宿舎の有無など

宿舎 規定により算定した貸付料に応じ、住宅手当を支給(上限27,000円)  
病院が民間アパートを借り上げ、公舎として貸与  
食事 院内に売店2箇所、レストラン1箇所(出前可)、カフェ1箇所所有

## ● 医学生の皆様へ



## ● 意欲ある研修医を求めています

当院は、新発田市内のみならず県北部から阿賀野市、新潟市の北部に及ぶ広域な医療圏をカバーしています。対象医療圏に総合病院が少なく、1次から3次まで多種多様な救急患者が来院し、救急車搬入台数は年間6,000台以上と県内最多です。幅広い重症度の多くの救急患者を発症頻度のままに経験できる数少ない病院であり、プライマリ・ケア能力を含めた医師としての基本的診療能力の獲得に最適な研修環境です。

## ● 研修医の声

- 新発田病院はとても雰囲気の良い病院です。先生方、看護師さん、技師さん、その他スタッフの皆さん、とても親切で暖かく指導してくれます。また新潟県北の基幹病院として多くの患者さんが来院され、特に救急外来当直では、1次から3次まで非常に多くの症例を経験できます。2年間研修を行えば、おそらく今後どここの病院に勤めることがあっても救急初期対応ができるようになってはいるはず。皆さん、是非新発田病院を研修先に考えてみてください。(研修医A)
- 病棟でも手術室でも救急外来でも研修医が活躍できる場面がたくさんあります。非常に充実した研修生活を送ることができます。(研修医B)
- 新発田病院は県北地域からの様々な種類の患者さんが来るので、とても忙しい病院です。しかし、それだけ経験できる症例の種類、数も豊富なので研修するのに最適な病院です。(研修医C)
- 興味深い症例が充実しています。素敵な指導医が充実しています。研修医の力も充実しています。というわけで毎日が充実しています。(研修医D)
- 当直、各科異常番コール(緊急カテ、緊急手術など)、病棟コール、学会発表、ACLSなどの研修…めまぐるしく過ぎていく毎日ですが仲間達と支え合ってがんばっています。(研修医E)

